

国境を越える

ドキュメンタリーの 時代へ

Tokyo Docs プレイベント in 上智大学

2015.10.18 SUN 14:00~ 13:30 開場

会場：上智大学 10号館講堂 入場無料

Tokyo Docsとは…日本のドキュメンタリー制作者による国際共同製作の機会を提供することを目的に、海外のプロデューサーやコミッションングエディターを招いて毎年開催される国際イベント。今年は10月25日(日)~28日(水)、千代田放送会館で開催。

【お問合わせ】 Tokyo Docs実行委員会事務局 TEL:03-6205-7858 E-mail:info@ttvf.jp

国境を越える

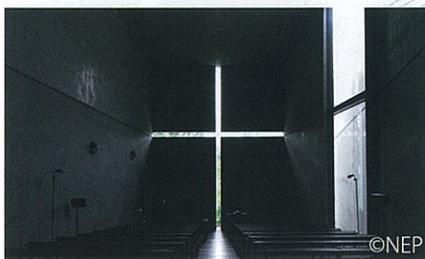
ドキュメンタリーの時代へ

昨年が続いて、上智大学メディア・ジャーナリズム研究所とTokyo Docsが共催するイベントの第二回。

今回は、国際展開を視野に入れたドキュメンタリー制作の第一線で活躍されているNHKエンタープライズの水野重理さんと、昨年のTokyo Docs最優秀企画賞受賞の若手ドキュメンタリスト戸田ひかるさんをお招きして、ドキュメンタリーの企画の立ち上がりから、国内放送、国際展開へとつないでいく方法について考えます。

第一部 上映会 14:00～

『Tadao Ando: Samurai Architect』(2015年、73分、英語/日本語)
監督:水野重理、制作:NHK / NEP / Autentic



世界的な建築家・安藤忠雄。73歳を超えた今も、新たな世界を求め、精力的に挑戦を続けている。そんな安藤に1年以上に渡って密着。中国などのプロジェクトを追う。

本作は、今年3月にNHK BSプレミアムで放送された『聞う建築家 安藤忠雄』(59分)の国際配給版。日本初公開。

第二部 トークセッション 15:30～

水野重理 (NHKエンタープライズ/エグゼクティブ・プロデューサー)

1992年、NHK入局。報道を担当し、国際、科学分野のドキュメンタリーを多数制作。北朝鮮の権力内部や、3.11の原発危機を描いた番組などが国外でも放送される。2013年Tokyo Docsでは企画『安藤忠雄 中国で闘う』が最優秀企画賞を受賞。

戸田ひかる (リトル・ストレンジャー・フィルムズ/ディレクター)

ロンドンを拠点にドキュメンタリーを製作。昨年、ドキュメンタリー映画『ラブホテル』を公開。2014年Tokyo Docsにて『Lawyers/弁護士』で最優秀企画賞。

進行役:音好宏 (上智大学メディア・ジャーナリズム研究所所長/新聞学科教授)

Message

長らく国内市場で完結していた日本のテレビ番組市場に、地殻変動が起きつつある。

国際共同製作や制作費の市場調達は、テレビ・ビジネスの近未来を予感させる注目すべき動きの1つである。そのようななか、急務は人材育成だ。国際市場で活躍できるセンスのある若手クリエイター、コーディネーターの育成が求められている。

上智大学メディア・ジャーナリズム研究所が主催する本上映会&パネルディスカッションは、TOKYODOCSのイベントと位置づけつつも、研究者、メディア関係者のみならず、大学生を含む、国際マーケットに関心を寄せる人々に広く開放することで、日本の国際映像マーケットへの可能性と課題を、未来思考で議論したい。

(音好宏 上智大学メディア・ジャーナリズム研究所所長/新聞学科教授)

Access

上智大学四谷キャンパス

10号館講堂

東京都千代田区
紀尾井町7-1

東京メトロ丸ノ内線
東京メトロ南北線/
JR中央線 四ツ谷駅
麹町口・赤坂口から徒歩5分



10号館講堂